業務部速報



No. 33 発行 20.11.13

JR東労組 業務部

申6号2020年度联邦宣第四周的印度公司

<u>年末手当等要求の満額獲得に向けて、要求づくりから最後まで中</u> <u>央本部とともに職場から創造的なたたかいをつくり出した全組合員</u> と、それを支えていただいたご家族に感謝申し上げます。

今回の年末手当等の交渉は、会社発足以来始めて経験する赤字決算ということもあり、団体交渉は厳しい議論となりました。

2020年度年末手当のたたかいは、組合員の現実からスタートし、要求を組合員とともに議論してつくりあげてきました。情勢は他社では一時金の支給見送りや低額回答を出す厳しい中で、組合員のたゆまぬ努力によって収益を確保してきたこと、さらに住宅ローンや奨学金返済などの生活実感なども合わせて根拠を明確にし、要求をつくりあげてきました。

本日、会社から回答を受けましたが、緊急提言を踏まえて職場からつくりあげてきた要求であったことから、席上妥結せず全地本代表者会議を開催し議論しました。

議論の結果コロナの感染拡大の危機が高まる中、住宅ローン等を抱える組合員の現実なども踏まえ、現場で奮闘している組合員の生活を第一に考えて 妥結することを判断しました。



【支 給 日】12月4日(金)以降、準備でき次第

【平均社員数】50,000人(対前年△1,400人)

【平 均 年 齢】39.4歳(対前年△0.6歳)

【平 均 支 給 額】740,400円(対前年△334,600円)

【平均基準内賃金】336,535円(対前年△1,663円)

今回の私たちに対する 会社の評価について 職場議論を行おう!

今回の妥結結果を組合員と議論し、仲間の想いをバネに緊急提言の議論を強化し、全組合員でJR東労組の強化を勝ち取り、労働条件向上に繋げていこう!引き続きバス関東本部、バス東北本部、JESS協議会の年末手当交渉をつくり出していこう!!